

プラスチックごみを取り巻く世界の現状



POINT!

- 各国の1人あたりのプラスチック容器包装の廃棄量を比較すると、日本の人口1人あたりのプラスチック容器包装の廃棄量は、アメリカに次いで世界で2番目に多い。 (図1)
- 世界の産業別プラスチック生産量と国内の用途別のプラスチック生産量の割合では、「容器包装等」が最も多い。 (図2-1及び図2-2)
- 2050年には海洋プラスチックごみは魚の量を上回り、消費する原油の20%がプラスチック生産に使用されると予測されている。 (図3)

図1 2014年各国のプラスチック容器包装の廃棄量 (総量および国民1人あたり)

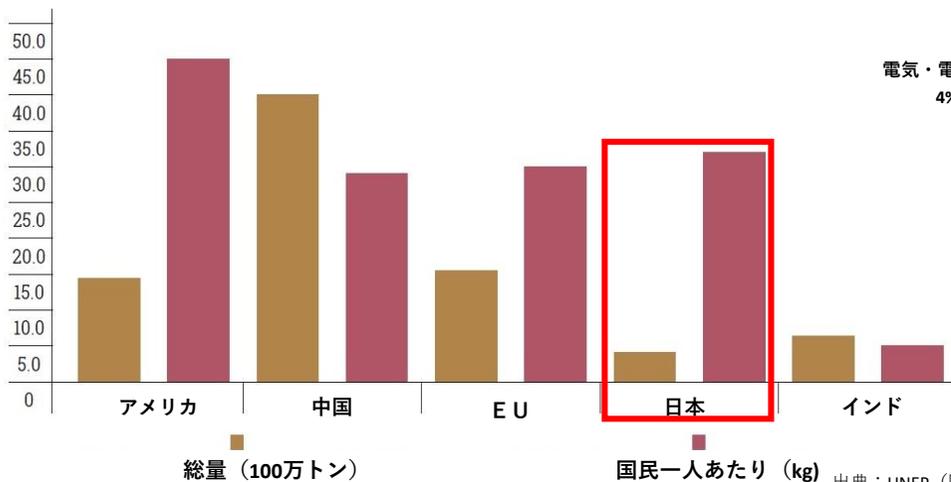
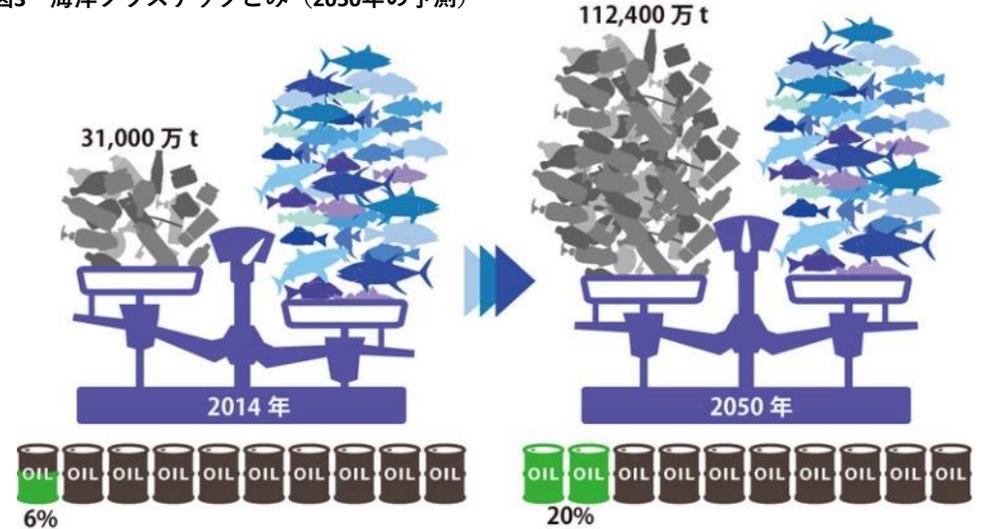
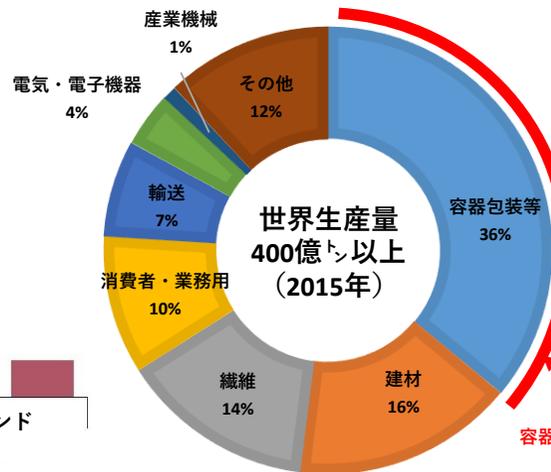


図3 海洋プラスチックごみ (2050年の予測)



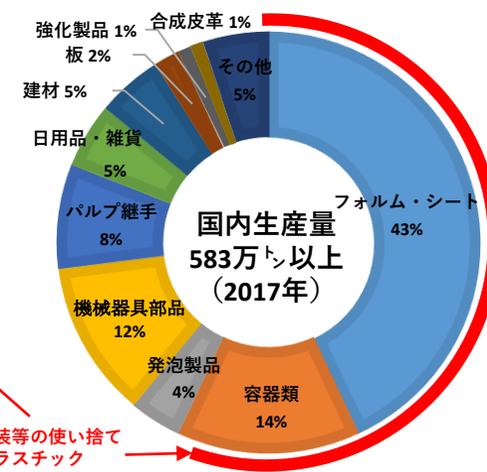
出典：世界経済フォーラム2016

図2-1 世界の産業別プラスチック生産量



出典：UNEP (国連環境計画)

図2-2 国内の用途別プラスチック生産量



出典：日本プラスチック工業連盟